

(法第28条第1項関係様式例)

30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで



(特定非営利活動法人の名称) NPO法人 熊本まちなみトラスト

1 事業の成果

NPO法人熊本まちなみトラスト(KMT)は、平成28年熊本地震から1年が経過した2017年5月に法人を設立し、初年度である2017年度に続く2018年度は第2期の事業年度となった。

法人設立の目的の一つであったワールド・モニュメント財団(WMF)からの復旧支援金の受け入れは第1期に800万円、第2期に2,800万円を既に受領し、次の第3期に残り200万円を受け入れて終了する。もう一つの目的であった被災文化遺産所有者等連絡協議会(被連協)の運営は、未指定を含む文化財の復旧復興に関する県の補助制度の創設という初期の目的を果たし、大規模被災建造物の応急的復旧工事も次の3期の事業年度には概ね竣工の予定である。

そのように、当法人にとって次の第3期(2019年度)は法人設立以来の転換期となりそうだが、その前の第2期2018年度を振り返ってみよう。

第1期の2017年10月から始まった旧住友銀行熊本支店社屋の取り組みは、2018年暮れに保存活用を前提とした買取り手が決まることで取り壊しの危機を脱する、という喜ばしい結果となった。第2期に取組んだ復興イベントは、4月の震災2周年にあわせた被連協の総会で地域のデザインコードをテーマとしてシンポジウムを開催した。続く5月のKMT総会では、会場となったPSオランジュリーのオーナーの呼びかけでPS交流会が開催された。交流会で同オーナーは、築後100年目の2019年に完了する震災復旧工事に寄せる思いを「次の100年を目指して」と熱く語られた。被連協に加盟される歴史的建造物のうち兵庫屋本店、野田市兵衛商店、黒瀬商店、金岡仏具店が第2期2018年度に復旧工事が完了し、規模の大きい吉田松花堂、清永本店、PSオランジュリーは現在復旧工事中である。復旧工事半ばにして2018年11月に全焼した後藤商店は惜しまれる。

新町古町地区では、多くの歴史的建造物を取り壊され跡地はマンションやコインパーキングとなる傾向にあったが、震災によってその動きは加速され、震災前に400棟以上あった町屋は震災の後半減した。しかし、残された建物に対する思いの深さも加速されており、その代表的な例は先に取り上げたPSオーナーの思いに見て取ることができる。また、2017年に惜しまれながら解体された鈴木邸、森本襖表具材料店の部材の一部が2018年に地区外の店舗や美術館に移築され再生の道を歩みはじめた。地区の歴史的環境を尊重したりノベーション活動を開始した矢先に熊本地震でその動きが一時停滞したが、ゲストハウスやカフェ等の開設に若い人たちが取組んでいる。これらの動きが現在熊本市が取組もうとしている「歴史まちづくり法」にもとづく歴史を活かしたまちづくりとうまく連携していくことが望まれる。

第2期2018年度におけるKMTの活動としては他に、9月に三角再発見ツアーを企画し、世界遺産構成要素である西港や東港周辺地区の歴史を活かしたまちづくりを考える機会をつくり、その後も三角観光協会のイベントの一部を主催していることが特筆される。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
歴史文化 遺産の顕 彰事業	被災2周年記念イベン ト(被連協総会+シンポ ジウム)	4/14	PS オ ラ ン ジ ュ リ	8	被災文化遺 産所有者等 連絡協議会 会員34人	76
	総会イベント(P S 交 流会に協力)	5/18	PS オ ラ ン ジ ュ リ	10	新町古町地 域住民	
歴史文化 遺産の保 存・活用 を促進す るための 事業	WMFの助成による 復旧工事費の支援	5/28 7/19 8/27 1/21			被災文化遺 産所有者 5人	27,955
	清永本店復旧工事寄 付金の募金集めと贈 呈	11/26			被災文化遺 産所有者 1人	
	被連協清永部会の運 営	毎週	清 永 本 店 等	3	被災文化遺 産所有者 1人	
	旧住友銀行熊本支店 社屋の保存活用		熊 本 市 中 央 区 米 屋 町	5	新町古町地 域住民 熊本県市民	
	新町古町歴史を活か したまちづくり支援 (WS参加等)				熊本県市民	
	宇城市三角地区の歴 史を活かしたまちづ くり支援	1	宇 城 市 三 角 地 区	3	熊本県市民	31

30歴史文化遺産の 顕彰・保存・活用 に関する 広報・出版事業	ホームページ、 facebook、twitter の運 営	平成 30年4 月～ 平成 31年3 月		3	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	351
	KMT の活動アーカイ ブの作成	平成 30年4 月～ 平成 31年3 月		5	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	
	被連協を中心に新町 古町の復興アーカイ ブの作成	平成 30年4 月～ 平成 31年3 月		5	新町古町地 域住民 熊本県市民	
	ドローンを使った画 像記録の製作	平成 30年4 月～ 平成 31年3 月		5		
	他都市の交流会など への参加	平成 30年4 月～ 平成 31年3 月		3	活動に連帯 する人たち	

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及

法人名：NPO 法人 熊本まちなみトラスト

平成30年度 活動計算書

平成30年 4月 1日 ～ 平成31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	205,000		
賛助会員受取会費	10,000	215,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	45,000	45,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金 ※1	28,325,046	28,325,046	
4. 事業収益			
A事業収益 被災2周年イベント)	0		
B事業収益 被災協支援)	1,524,710		
C事業収益 新町古町・歴史的建造物)	0		
D事業収益 記録の作成)	0		
E事業収益 三角地区)	4,000	1,528,710	
5. その他収益			
受取利息	27	27	
経常収益計			30,113,783
II 経常費用			
1. 事業費			
1) 人件費			
給料手当	0		
臨時雇い賃金	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
2) その他経費			
印刷製本費	7,048		
修繕費	0		
旅費交通費	43,533		
消耗品費	1,101		
通信運搬費	46,475		
雑費	4,933		
支払手数料	6,966		
研修費	45,000		
修復支援金(WMF)	26,491,140		
外注費	102,600		
機材費	219,024		
水道光熱費	0		
地代家賃	0		
会議費	0		
修復支援金(寄付金)	1,444,710		
その他経費計	28,412,530		
事業費計		28,412,530	
2. 管理費			
1) 人件費			
給料手当	601,500		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
人件費計	601,500		
2) その他経費			
旅費交通費	103,807		
通信運搬費	18,075		
印刷製本費	50,100		
消耗品費	12,110		
機材費	225,504		
研修費	1,000		
地代家賃	600,000		
外注費	0		
会議費	0		
雑費	52,612		
諸会費	10,000		
租税公課	1,250		
支払手数料	5,776		
その他の経費計	1,080,234		
管理費計		1,681,734	
経常費用計			30,094,264
当期正味財産増減額			19,519
前期繰越正味財産額			400,292
次期繰越正味財産額			419,811

計算書類の注記 平成30年度)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準 2010年 7月 20日 2017年 12月 12日最終改正 NPO法人 会計基準協議会)によっています。

1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

1) 月 1回のペースで 熊本大学まちなか工房」を無料でお借りして理事会を開いています。

2) イベント時には「PSオランジュ」を無料でお借りしています。

3) 事務局スペースの運営は、水道光熱費・電話・コピー機使用等を月5万円の家賃に含めています。

3) ボランティアによる役務の提供

私たちの活動は会員のボランティアで成り立っています。今期は詳細の注記はしておりません。

基本的に 活動を実施する上で経費は負担するが、その労力は無料」との考えで運営しています。

4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

単位 :円)

科 目	①	②			③	事業費計
	A事業費 被災2周年イ ベント)	B事業費 被災協支 援)	C事業費 新町古町・ 歴史的建造 物)	D事業費 三角地区)	E事業費 記録の作 成)	
1) 人件費						
給料手当	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0
2) その他経費						
印刷製本費	0	0	0	0	7,048	7,048
研修費※2	30,000	0	0	0	15,000	45,000
雑費	1,138	0	0	3,163	632	4,933
支払手数料	54	6,588	0	0	324	6,966
消耗品費	0	777	0	0	324	1,101
通信運搬費	23,034	11,480	0	4,756	7,205	46,475
旅費交通費	0	0	0	22,733	20,800	43,533
修復支援金(WMF)	0	26,491,140	0	0	0	26,491,140
外注費※1	21,600	0	0	0	81,000	102,600
機材費	0	0	0	0	219,024	219,024
修復支援金(寄付金)	0	1,444,710	0	0	0	1,444,710
						0
その他経費計	75,826	27,954,695	0	30,652	351,357	28,412,530
合 計	75,826	27,954,695	0	30,652	351,357	28,412,530

※1 HF管理8万円 イベント外注費 2万円

※2 他都市の交流会の参加費等

①歴史文化遺産の顕彰事業

②歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業

③歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業

3. 固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

4. 借入金金の増減内訳

単位 :円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	1,000,000	0	1,000,000
合 計	0	1,000,000	0	1,000,000

法人名：NPO 法人 熊本まちなみトラスト

貸借対照表

平成31 年 3 月 31 日現在

単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,419,811		
流動資産合計		1,419,811	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,419,811
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金注1	1,000,000		
流動負債合計		1,000,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,000,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		400,292	
当期正味財産増減額		19,519	
正味財産合計			419,811
負債及び正味財産合計			1,419,811

注1 借入金

NPO発足当初、非認証NPO熊本まちなみトラストからの借入金

法人名： NPO 法人 熊本まちなみトラスト

財産目録

平成31 年 3 月 31 日現在

単位 :円)

科 目 ・ 摘 要		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金	0			
郵便貯金	554,710			
振替口座 (旧)	0			
振替口座 (新)	0			
肥後銀行 1	785,097			
肥後銀行 2	80,004			
流動資産合計		1,419,811		
2. 固定資産				
固定資産合計		0		
資産合計				1,419,811
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	0			
借入金	1,000,000			
流動負債合計		1,000,000		
2. 固定負債				
固定負債合計		0		
負債合計				1,000,000
正味財産				419,811